

平成 21 年 8 月 28 日

## 長岡市震災対策訓練の実施について（案）

### 1 目 的

中越大震災において、道路、水道、電気及び通信施設等に壊滅的な被害を受け、14 集落全てが孤立した山古志地域では、各集落で自主防災会が結成されるなど防災意識が高まっている。

そこで、震災から 5 年の節目を迎えるにあたり、全集落の住民を対象に避難訓練等をはじめ、各防災機関による情報収集・伝達訓練等、種々の防災訓練を実施し、被災経験を生かした地域防災力の強化を図るとともに、中山間地域における防災対策を全国に発信することを目的とする。

### 2 日 時

平成 21 年 10 月 18 日（日）午前 8 時から午前 11 時まで（予定）

### 3 会 場

長岡市山古志地域、山古志支所ほか

### 4 避難対象地域

山古志地域 14 集落 495 世帯、1,429 人（平成 21 年 4 月 1 日現在）

### 5 想 定

10 月 18 日（日）午前 7 時 56 分、新潟県中越地方の深さ 13 km で M6.8 の地震が発生し、この地震により長岡市山古志地域で震度 6 強が観測された。このため、午前 8 時 10 分に山古志支所に現地災害対策本部を設置し、全住民に避難指示を発令した。

### 6 主 催

長岡市山古志地域ふるさと創生事業実行委員会  
長岡市

### 7 参加機関

- (1) 地元関係者 地域住民
- (2) 防災機関等

国土交通省北陸地方整備局、信濃川河川事務所、湯沢砂防事務所、長岡国道事務所、北陸技術事務所、国営越後丘陵公園事務所、陸上自衛隊、防災科学技術研究所（NIED）、宇宙航空研究開発機構（JAXA）、新潟大学、新潟大学医歯学総合病院 DMAT、新潟県、新潟県警察、新潟県消防防災航空隊、新潟県長岡地域振興局、日本赤十字社新潟県支部、(株)NTT 東日本ー新潟、(株)NTT ドコモ新潟支店、東北電力(株)長岡営業所、(社)中越防災安全推進機構、長岡赤十字病院 DMAT、長岡市赤十字奉仕団長岡分団、長岡市社会福祉協議会、長岡市国際交流センター「地球広場」、中越市民防災安全士会、NPO 法人コメリ災害対策センター、新潟レスキューバイク隊、住民安全ネットワーク、(株)ニットウ、FM ながおか

(3) 長岡市

山古志支所、危機管理防災本部、水道局、消防本部、消防団山古志方面隊、山古志小・中学校

## 8 訓練内容

- (1) 災害対策本部設置訓練
- (2) 情報収集・伝達訓練
- (3) 住民避難・災害時要援護者等安否確認訓練
- (4) 避難所・救護所開設訓練
- (5) 被害情報収集等訓練
- (6) ヘリコプターによる住民避難訓練
- (7) 倒壊家屋からの救出・救護訓練
- (8) レスキューバイクによる物資運搬・情報収集訓練
- (9) 応急手当、救護訓練
- (10) 炊き出し訓練、給水訓練
- (11) K u - S A T 設営（画像伝送）訓練
- (12) 災害監視無人機システムによる被害状況調査訓練
- (13) 気球を用いた通信システムによる被害状況調査訓練
- (14) 避難者と外部とのメッセージ送受信訓練
- (15) 防災ネットワーク対応トリアージタグと救急通報訓練
- (16) 土砂災害体験装置による体験訓練
- (17) 無料特設公衆電話の設置及び災害用伝言ダイヤルによる安否確認訓練
- (18) 起震車による地震体験訓練
- (19) 緊急避難用飲料水製造訓練
- (20) 児童・生徒の安否確認及び帰宅判断訓練
- (21) 避難所における要援護者等に対する支援
- (22) トンネル臨時点検無人調査ユニットの展示
- (23) 災害対策車両の展示
- (24) 救助車両等の展示
- (25) 電源車両の展示
- (26) 山古志総合体育館（避難所）へ訓練映像の配信
- (27) 防災・安全・復興に関する国際シンポジウム参加者の視察
- (28) 防災資機材及びパネルの展示

## 9 その他

訓練当日、実災害及び天候等の状況により、訓練の全部又は一部を中止若しくは変更することもある。

担当：長岡市山古志支所 地域振興課 地域振興・防災係 電話：0258-59-2330 長岡市危機管理防災本部 危機管理班 電話：0258-39-2262
---------------------------------------------------------------------------------------

## 長岡市震災対策訓練の実施項目（案）

訓練項目	訓練内容	参加機関
1 災害対策本部設置訓練	市災害対策本部（想定のみ）及び山古志体育館に現地災害対策本部を設置する。	危機管理防災本部、山古志支所
2 情報収集・伝達訓練	緊急告知FMラジオ、携帯電話メールを通じて、地震発生等の情報を住民に伝える。	危機管理防災本部、FMながおか、住民安全ネットワーク
3 住民避難・災害時要援護者等安否確認・情報伝達訓練	各集落の住民が一時避難所へ避難し、災害時要援護者等の安否確認と被災状況等を衛星携帯電話を使い、山古志支所へ連絡する。	防災科学技術研究所、山古志支所、自主防災会
4 避難所・救護所開設訓練	地域住民と行政、施設管理者が協働して避難所を開設し及び医師等が救護所を開設する。	危機管理防災本部、山古志支所、（山古志診療所）
5 被害情報収集等訓練	パトロールカーによる道路、河川等の被害状況を調査し、災害対策本部に報告及び住民避難後の防犯パトロール等を実施する。	新潟県、新潟県警察、新潟県長岡地域振興局、山古志支所
6 ヘリコプターによる住民避難訓練	地震により道路が途絶して孤立した種芋原集落の住民等を大型ヘリコプター、マイクロバス及び福祉送迎バス（車椅子）により避難させる。	陸上自衛隊、消防団、山古志支所、社会福祉協議会山古志支所
7 倒壊家屋からの救出・救護訓練	地震により住宅が倒壊し、下敷きとなった住民（5名程度）を救出して、トリアージ、応急処置を行い、ヘリコプター及び救急車で医療機関に搬送及び救護所に収容する。	県消防防災航空隊、長岡赤十字病院DMAT、消防本部、消防団、山古志支所（山古志診療所）
8 レスキューバイクによる物資運搬・情報収集訓練	バイク隊により救援物資を山古志現地災害対策本部に輸送等を行う。	新潟レスキューバイク隊
9 応急手当、救護訓練	救護に関する知識や技術を習得するため、地域住民が応急手当や簡易担架の作成等を体験する。	消防本部、中越市民防災安全士会
10 炊き出し訓練、給水訓練	避難した地域住民に対する炊き出し及び給水車による給水を実施する。	赤十字奉仕団長岡分団、水道局
11 K u - S A T 設営（画像伝送）訓練	災害現場の被災等の状況をビデオカメラで撮影し、衛星（JC-SAT）を通じて、現地災害対策本部へ伝送を行う。	北陸地方整備局
12 災害監視無人機システムによる被害状況調査訓練	飛行船型災害監視無人機のスケールモデル（全長8m）により上空からカメラで災害現場を撮影し、被災状況を調査する。	宇宙航空研究開発機構
13 気球を用いた通信システムによる被害状況調査	上空に係留した気球（全長8m）に吊るした通信機器を利用して被災地付近の	新潟大学

	査訓練	通信網を確保する。	
14	避難者と外部とのメッセージ送受信訓練	避難所に設置したパソコンで仮設通信回線を経由してインターネットに接続し、避難所におけるメッセージ通信システムを確保する。	新潟大学
15	防災ネットワーク対応トリアージタグと救急通報訓練	非常用電源を使い、避難所でDMATが活動する際のトリアージ情報を災害対策本部にリアルタイムで伝送するための通信を実施する。	新潟大学、新潟大学医歯学総合病院DMAT、山古志小中学校
16	土砂災害体験装置による体験訓練	コンピュータグラフィックで土石流等を再現する土砂災害体験装置により地域住民が土砂災害を五感で疑似体験する。	北陸地方整備局
17	無料特設公衆電話の設置及び災害用伝言ダイヤルによる安否確認訓練	衛星携帯通信による無料特設公衆電話2回線を設置し、これらを活用した「災害用伝言ダイヤル」171により家族、親戚及び知人等の安否を確認する。	NTT東日本
18	起震車による地震体験訓練	地域住民が起震発生装置により地震を体験する。	危機管理防災本部
19	緊急避難用飲料水製造訓練	災害用浄水装置を使用して、池、河川等の水を浄化し、飲料水として避難住民に提供する。	ニットウ
20	児童・生徒の安否確認及び帰宅判断訓練	人工衛星回線を活用して現地災害対策本部で集約された情報を学校が入手し、それに基づき、児童・生徒の安否確認及び帰宅判断を行う。	防災科学技術研究所、宇宙航空研究開発機構、山古志小中学校
21	避難所における要援護者等に対する支援	避難してきた要援護者等のうち、排泄等の介助が必要な者に対し、専門職員が必要な介護を行う。	社会福祉協議会山古志支所
22	トンネル臨時点検無人調査ユニットの展示	被災したトンネルの内部調査は、二次災害の恐れがあるため、無線操縦による無人装置でトンネル内部をカメラで撮影して調査する。	北陸地方整備局
23	災害対策車両の展示	災害現場で復旧作業及び監視を行う排水ポンプ車、照明車の展示	北陸地方整備局
24	救助車両等の展示	災害現場で活動する救助車及び投光機車の展示	新潟県警察
25	電源車両の展示	停電した災害現場で活動する電源車両の展示	東北電力
26	山古志総合体育館（避難所）へ訓練映像の配信（委託業務）	ヘリコプターによる住民避難及び傷病者搬送訓練等の映像を避難所に配信する。	北陸地方整備局、山古志支所
27	防災・安全・復興に関する国際シンポジウム参加者の視察	新潟県中越大震災5周年事業「防災・安全・復興に関する国際シンポジウム」の参加者が訓練の状況を視察する。	中越防災安全推進機構
28	防災資機材及びパネルの展示	防災関係機関が撮影した中越大震災等の写真パネル及び防災資機材の展示	防災関係機関

平成21年度 長岡市震災対策訓練タイムスケジュール(会場別)(案)

H21. 8. 28現在

	7時					8時					9時					10時					11時	
	10	20	30	40	50	10	20	30	40	50	10	20	30	40	50	10	20	30	40	50	11:00	
	7:56 地震発生					8:10 避難指示発令															10:55 閉会式	11:00 訓練終了
各 集 落	2 情報収集・伝達訓練、3 住民避難訓練等 一時避難所へ(安否確認、衛星携帯電話による伝達等)																					
	虫亀集落等 集落独自訓練 各集落毎に集結し、避難所(総合体育館)に移動(各種訓練に参加)																					
山古志小中学校	種芋原集落 住民避難→農村運動広場に集結																					
	5 被害情報収集等訓練(長岡地域振興局、新潟県警察) 6 ヘリによる住民避難訓練(自衛隊大型ヘリ) (農村運動広場離陸→山古志小中学校グラウンド着陸→総合体育館(マイクロバス)へ) 11 K-U-SAT設営(画像伝送)訓練(北陸地方整備局)																					
主 会 場	竹沢・梶金集落 住民避難訓練(集落独自訓練:防災科研)																					
	10 給水訓練(水道局) (展示) 8 レスキューバイクによる物資運搬・情報収集訓練(レスキューバイク隊) 7 倒壊家屋救出・救護訓練 (県消防防災ヘリ、長岡赤十字病院DMAT、消防本部、消防団)																					
山古志支所(表駐車場)	4 救護所開設訓練(診療所)、10 炊き出し訓練(日赤奉仕団)、16 土砂災害体験訓練(北陸地方整備局)、17 特設公衆電話の設置及び災害用伝言ダイヤルによる安否確認訓練(NTT東日本)、 18 起震車体験訓練(防災本部)、19 緊急避難用飲料水製造訓練(ニッポン)、23 災害対策車両の展示(北陸地方整備局)、24 救助車両等の展示(新潟県警察)、25 電源車両の展示(東北電力)																					
	13 気球を用いた通信システムによる被害状況調査訓練(新潟大学) 14 避難者と外部とのメッセージ送受信訓練(新潟大学)																					
山古志支所(裏駐車場)	12 災害監視無人機システムによる被害状況調査訓練(JAXA)																					
	26 訓練映像配信(種芋原住民避難等/北陸地方整備局) 26 訓練映像配信(ヘリによる搬送)																					
山古志総合体育館(避難所)	○ 各集落住民到着(随時)・小中学生 住民より2グループ(各50名程度)を 選抜し、それぞれの訓練を受ける。																					
	4 避難所開設訓練(防災本部、支所) (簡易更衣室・授乳室、ポータブルトイレの設置) 9 応急手当、救護訓練(消防本部、安全士会)																					
視 察	21 避難所における要援護者等に対する支援(市社会福祉協議会) 22 トンネル臨時点検無人調査ユニットの展示(北陸地方整備局) 28 防災関係機関によるパネル等展示																					
	15 防災ネットワーク対応トリアージタグと救急通報訓練(新潟大学、山古志小中学校等) 20 児童・生徒の安否確認及び帰宅判断訓練(NIED、JAXA、山古志小中学校)																					
山古志支所(現地对策本部)	1 災害対策本部設置訓練 職員自主参集 現地災害対策本部設置 避難所開設 避難者数の確認																					
	27 国際シンポジウム視察																					